

2015 年度 甲南大学大学院 入試問題

区 分	研究科	専 攻	試験科目	試験時間	試験日
修士 2 次	人文科学	応用社会学 専攻	専門	90分	2015年2月21日

下記の【問題 1】および【問題 2】について解答し、別紙の解答用紙に記すこと。

【問題 1】

下記の(設問1)～(設問3)のうちから1問選び、解答しなさい。

(設問1)

豊臣秀吉の朝鮮出兵以後、日朝間の国交は断絶した。徳川幕府のもと、国交の回復が図られたが、その過程について述べなさい。また、国交回復後、幕末に至る迄の両国間の外交関係について説明しなさい。

(設問2)

江戸時代は、文書行政が高度に発達した社会であり、幕府や藩の役所では文書によって様々な行政の運営が成される。文書による行政運営について説明しなさい。また作成された文書の管理についても説明しなさい。

(設問3)

第二次世界大戦後、日本国憲法において天皇は国家の象徴であると位置づけられた。1989 年までの時期を対象として、象徴天皇制がどのように展開したのか説明しなさい。

【問題 2】

下記の用語のうちから 3 つの用語を選び、その用語を説明しなさい。

- (1)部民制 (2)初期荘園 (3)得宗専制 (4)古今伝授 (5)両替商
(6)株仲間 (7)人別送り状 (8)神仏分離令 (9)廃藩置県 (10)下関条約

以上